

二酸化炭素消火設備が設置された 建物の関係者の皆さまへ



！二酸化炭素消火設備が起動した際には、すみやかに滞在者を避難させてください。

！防護区画以外の場所に消火ガス（二酸化炭素）が漏えいする場合があります。

- 市内の機械式駐車場において、二酸化炭素消火設備が起動した際に、防護区画以外の場所に高濃度の消火ガス（二酸化炭素）が漏えいする事故が発生しました。
- 原因は、消火ガス（二酸化炭素）の放出による室内圧力の上昇により、防護区画のALC壁の目地部分の充填剤が剥離し、生じたすき間から消火ガス（二酸化炭素）が漏えいたものと推測されます。
- 二酸化炭素は消火には有効ですが、高濃度の二酸化炭素を吸い込むと大変危険です。

防護区画のALC壁の目地部分です



扉などのすき間の他、このような目地部分から消火ガス（二酸化炭素）が漏えいする場合があります。



防護区画とは

消火を対象とする区画のことで、壁・柱・床または天井が不燃材料で作られた区画をいいます。

二酸化炭素の人体への影響について

濃度	影響を及ぼすまでの時間	症状
0.035 %	—	大気中の二酸化炭素濃度
2 ~ 3 %	5 ~ 10分	呼吸数の増加
3 ~ 4 %	10 ~ 30分	頭痛、めまいなど
4 ~ 6 %	5 ~ 10分	めまい、過呼吸による不快感
6 ~ 8 %	10 ~ 60分	意識レベルの低下、けいれん
8 ~ 10 %	1 ~ 10分	同上
10 % ~	数分	意識喪失、短時間での生命危険
30 %	8 ~ 12呼吸	同上

消火ガスが放出されたら…

二酸化炭素消火設備が起動し、消火ガスが放出されると防護区画内の二酸化炭素濃度は約35%まで上昇します。

人体への影響はこちら



日頃からの3つの備え

- ☞ 建物を利用する方へ、二酸化炭素消火設備が設置されている場所の状況や消火ガスの人体への危険性などについて周知してください。
- ☞ 二酸化炭素消火設備が起動し消火ガスが放出された場合には、館内放送を用いるなど、防護区画の近くや周辺部分に滞在している方を屋外等の安全な場所にすみやかに避難させてください。
- ☞ 放出された消火ガスの排出方法について、その手順がわかるよう関係する資料を備えておいてください。

二酸化炭素消火設備に関して不明な点などがございましたら、管轄の消防署までご相談ください。



大阪市消防局

消防署一覧

